

# 和解契約交渉における規律原理の研究

研究分野: 社会科学、民法法学

キーワード: 民法、契約法、和解、ADR、契約内容の規制

貢献できるSDGsの区分:



地域創造学部 公共政策学科 講師 永井 洋士

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/h-nagai/>

## 研究概要

市民社会において生じるトラブルは、すべて裁判所によって解決されると思われているかもしれませんが、実際には、裁判所の判決によって解決されるトラブルは、全体の3割程しかなく、その他のトラブルは、当事者の話し合い等によって解決されています。こうした当事者の合意による紛争解決を和解といい、民法に規定されている契約類型の一つに位置づけられています。

これまで、私は和解契約の具体的な効果について研究してきましたが、最近では、最終的な和解合意に至るまでの交渉過程に関心を寄せています。具体的には、いかなる交渉過程を経ていれば和解契約の拘束力が付与されるかについて、フランス法の議論を参考にしながら、これを明らかにしたいと考えています。また、この研究で得られた成果は、和解契約にとどまらず、売買や賃貸借など、他の契約類型にも応用できると考えています。

## 産学連携の可能性(アピールポイント)

- ・各種学校などにおいて、法教育をおこなうことができます。
- ・契約条項について、法的観点から助言をおこなうことができます。

## 外部との連携実績等

- ・2017年4月～2018年3月 公益財団法人民事紛争処理研究基金 研究助成(和解契約を反故にする要因の研究—過払金返還請求訴訟を題材にして)
- ・2018年4月～2020年3月 青山学院大学判例研究所 研究プロジェクト(フランスにおける裁判外紛争処理手続の展開と改正民法典への影響)
- ・2023年1月～2024年1月 一般財団法人司法協会 研究助成(和解契約交渉における規律原理の研究)
- ・佐世保市地域公共交通活性化協議会委員・副会長